



松戸市立総合医療センター



医療連携 News



第186号 (2022.11)

編集・発行 松戸市立総合医療センター 地域連携室  
〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀993-1 電話 047-712-2511 (代)  
<https://www.city.matsudo.chiba.jp/hospital/>

医療機関各位

松戸市立総合医療センター  
病院長 尾形 章

晩秋の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
平素より、当院に対して一方ならぬご支援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。  
医療機関の皆様方へ毎月お送りしております「医療連携News」を是非ご高覧いただき、また患者さんへ必要な情報を提供いただけましたら幸甚に存じます。



外科のご案内 2

今月号(11月号)では先月号(10月号)に引き続き、外科(肛門疾患)のほか、緩和ケア科のご紹介を致します。外科に関しては以前にも第143号(2019.4)と162号(2020.11)に特集させていただいておりますので参考にいただければと思います。

まずは「**肛門疾患**」についてご紹介いたします。

肛門は排便や排ガスをつかさどる器官で固形便か下痢便かを見極めるセンサーの役割もしております。肛門周辺にできる病気の主なものに痔があります。痔には、いぼ痔(痔核)、あな痔(痔ろう)、きれ痔(裂肛)があり、これらを3大肛門疾患と呼んでいます。他に直腸脱というおしりから直腸が脱出してしまう病気があります。今回は痔核、痔ろう、裂肛、直腸脱の説明を行い、現状での外来から入院、手術、退院、外来受診までの流れをご紹介させていただきます。



外科担当医師  
【後列左から】神谷副部長 三浦副部長 尾形病院長 竹内部長 金子部長 山田医長 鈴木医長  
【前列】特別研修医、研修医一同 ※写真撮影のためマスクを外しております

### ◆痔核（いぼ痔）

排便の際のいきみ、慢性的な便秘、下痢などで負担がかかることで生じます。歯状線より内側のものを内痔核、外側のものを外痔核といいます。内痔核が生じる粘膜には知覚神経がありませんので、痛みを感じることはないといわれています。出血や脱出を伴うことがあります。一般的に程度を表すのにGoligher(ゴリガー)分類が用いられております。外痔核は多くの場合痛みを伴います。

#### Goligher(ゴリガー)分類

- I 度：排便時に痔核が膨張するが脱出はしない。
- II 度：排便時に痔核が脱出するが、排便後に自然に還納する。
- III 度：排便時に痔核の脱出があり、用手還納を要する。
- IV 度：常に痔核が脱出した状態で還納できない。（脱肛や嵌頓痔核）

基本的にはI～II度は保存的治療、III～IV度は保存療法に加え、手術療法が考慮されますが、患者さんの治療方法への希望、年齢や社会的状況などを総合的に見て治療法を選択いたします。

保存療法には規則的な排便習慣や食事療法などの生活習慣の改善や、薬物療法（ステロイド含有軟膏やリドカイン含有軟膏など）があります。

手術療法には硬化療法（ジオン注射硬化療法；ALTA法）やゴム輪結紮切除法（LE法；Ligation and Excision）、血栓除去法などがあります。

### ◆痔ろう（あな痔）

下痢などにより歯状線にある肛門陰窩に下痢便が入って細菌に感染して起こります。肛門陰窩は小さなくぼみなので便は入りにくいのですが、下痢のため、便が入りやすくなります。

その結果、肛門外に炎症が生じて膿瘍ができると、肛門周囲膿瘍を生じたり、それが、皮膚の外へ出口を求めて離開し瘻孔ができると痔ろうと呼ばれます。肛門周囲膿瘍だけでは、切開排膿を施行して軽快いたしますが、瘻孔ができていれば再燃、再発をきたします。

肛門周囲膿瘍は症状が良くなってしまうと、患者さんも通院する気がなくなってしまうことがありますが、痔ろうの可能性、痔ろうへ発展する可能性を考慮して、いずれまた再燃することがあることをお伝えしております。また再燃予防のために、下痢を起こさないような食生活の指導を行っております。痔ろうが完成された患者さんに対しては、保存的治療は無効なので、Seton（シートン）法、lay-open法などの手術療法を行っておりますが、患者さんの治療方法への希望、年齢や社会的状況などの考慮は行っております。

### ◆裂肛（きれ痔）

慢性的な便秘や下痢が原因で肛門上皮が切れることで排便時に出血や痛みが現れ、排便後も痛みが持続するようになります。急性裂肛と慢性裂肛に分類されます。

急性裂肛：症状は排便時に紙につく程度の出血、痛みが見られ、排便後もジーンとする痛みが続きます。排便コントロール、薬物療法などの保存療法が主になります。

慢性裂肛：数か月にわたり、深い傷になって、潰瘍になり、皮膚の突起物（見張りイボと呼ばれます）やポリープができたり、肛門狭窄が起きたりします。治療は側方内肛門括約筋切開法（LSIS；lateral subcutaneous internal sphincterotomy）、皮膚弁移動術（SSG；sliding skin graft）、VY形成術などの手術療法が主になってきます。患者さんの治療方法への希望、年齢や社会的状況などを考慮して治療を行っております。

### ◆直腸脱

文字通り、直腸が肛門から反転して脱出してしまふ病気です。一般的には高齢者、特に女性に多いです。社会の高齢化に伴い増加傾向にあります。排便に数十分かかったり、必死で力むような特殊な場合に多く発症します。症状としては直腸の脱出、便漏れ、排便障害、下腹部の違和感や排尿障害などがあります。同時に子宮脱を認める場合もあります。治療法は手術が主体となりますが、患者さんがご高齢で施設入所されている方も多いため、ADLに応じて手術方法を選んでおります。腹腔鏡下に直腸を持ち上げて固定する方法（腹腔鏡下直腸固定術）や、経肛門的に行う、Delorme（デロルメ）法、Altemeier（アルテマイヤー）法、Thiersch（ティールシュ）法などがあります。

## 【初診から手術、退院までの流れ】

肛門疾患は肛門周囲膿瘍や、嵌頓性内痔核、血栓性外痔核を除けば、比較的緊急対応疾患でないことが多いため、待機的に手術を行っております。

肛門関連手術においては、2009年4月から2016年3月まで八ヶ崎医院で肛門関連手術を多数されておりました小杉光世先生（非常勤医、肛門外科特任顧問 昭和40年卒）を招いて、日程調整をした後に不定期の水曜日に行っております。一般的には前日入院、翌日以降状況を見て退院のことが多いです。

もちろん患者さんの都合に合わない時は、患者さんと相談して治療を行っております。

## 緩和ケア科のご案内

当院は、入院患者さんに対しては緩和ケアチームという多職種チームが構成されて、緩和ケアが必要な患者さんの診療にあたっております（精神科は非常勤医師）。外来患者さんに関しましては他院からの紹介を受け入れて、外来で経過観察を行いつつ、病状に応じて近隣の在宅診療や緩和ケア病棟の案内を行っております。基本的には木曜日の15時より予約枠を設けておりますが、地域連携室（電話047-712-0551 FAX047-712-2573）を通して相談していただけますとご希望に沿えるように対応いたします。また、令和6年3月に東松戸病院の閉院に伴い緩和ケア病棟が閉鎖となります。そのため、緩和ケア病棟機能を当院に移しますが、令和7年4月の開院を目指すことが決まりました。切れ目のない緩和医療提供を希望される声が多いため、その間の空白の1年間、緩和医療の入院体制をどうするかは現在模索中です。今後も状況報告を行ってまいりますのでよろしくお願い致します。

現在、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、緩和ケア教室、緩和ケアイブニングセミナーという行事を中止しております。また、緩和ケア研修会は行ってはいるものの、院外参加者の募集を行っておりません。再開機会を伺っておりますが、詳しくはお手数ですが当院HPを参照してください。緩和ケア教室とは、がん患者さん達が集い、思い思いに話し合う場です。緩和ケアイブニングセミナーは近隣の医療従事者に向けて地域連携を兼ねた講演を行う場です。緩和ケア研修会は「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」に基づいて行われる研修会で平成31年度から「緩和ケア研修会e-learning(厚生労働省)」で事前学習を行い、ワークショップの部分を「集合研修」として当院で行っております。今後ともよろしくお願い致します。

## ★緩和ケアチーム★



### 【前列】

金子緩和ケア科部長兼  
外科部長（中央）  
下村歯科衛生士（右）  
柴田MSW（左）

### 【後列左から】

上田薬剤師  
友木歯科口腔外科医長  
大村緩和ケア認定看護師  
押見MSW  
棚岡臨床心理士

※写真撮影のためマスクを外しております

## 受託検査のご案内

当院では、他の医療機関から下記の検査をお受けしています。ぜひご利用ください。

●CT検査 ●MRI検査 ●骨密度測定検査 ●上部消化管内視鏡検査 ●腹部超音波検査

地域連携室予約担当 TEL 047-712-0685 FAX 047-712-2573

(受付時間 月～金(祝日、年末年始を除く) 8:30～17:00)

●RI検査(核医学検査)

核医学検査受付 TEL 047-712-2511 (代表番号より内線1123をご指示ください)

FAX 047-712-2573

(受付時間 月～金(祝日、年末年始を除く) 8:30～16:00)

※番号をご確認のうえ、お間違のないようお願いいたします。

※初めて受託検査をご利用の医療機関は、事前に下記までお問合わせください。

連絡先：松戸市立総合医療センター 地域連携室 電話 047-712-0551(直通)

受付時間：月曜～金曜(祝日・年末年始を除く) 8:30～17:00

## 患者さん向けのお知らせ

**健康教室開催のお知らせ** 対象者：患者・ご家族・健康教室に関心がある方

- ①【日 時】2022年11月17日(木)  
【テーマ】あなたに迫る糖尿病～その治療の意味～  
【講師】医師  
【場所】松戸市立総合医療センター 2階大会議室  
【時間】14時00分～(開場 13時45分)

申込み不要

- ②【日 時】2022年11月24日(木)  
【テーマ】実践 糖尿病食事療法  
【講師】管理栄養士  
【場所】松戸市立総合医療センター 2階会議室①②③  
【時間】14時00分～(開場 13時45分)



【問合せ】047-712-2511(代表) 音声案内が流れますので、ダイヤルボタンの6を押し、栄養管理室(内線1091)までお問合わせください。

※まつど健康マイレージの対象となります(5マイル)

## 臨時休診等お知らせ (2022年10月21日現在)

11月 医師の休診			12月 医師の休診		
循環器内科	立林医師	1日(火)	血液内科	山崎医師	9日(金)
眼科	樋口医師	2日(水)			
	太和田医師	4日(金)			
小児科	成瀬医師	1日(火)			
	上瀧医師	24日(木)			
脳神経外科	栗原医師	4日(金)			
	渡邊医師	11日(金)			

